# 冊子の見方・活用の仕方

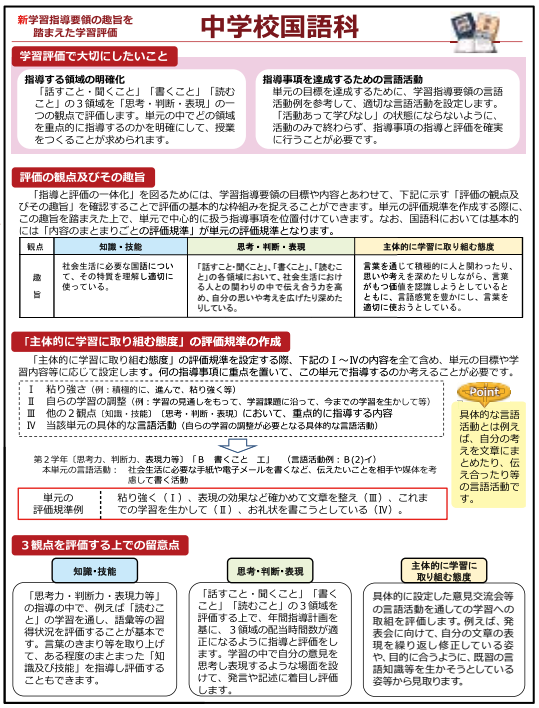
## 各教科等の１ページ目

**「学習評価で大切にしたいこと」**では、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、今回の改訂で学習評価を行う際に、各教科等で注意しておくべき大切なことを紹介しています。

**「評価の観点及びその趣旨」**では、「指導と評価の一体化」を図るために、単元の評価規準を作成する際に必要となる各教科等の「評価の観点及びその趣旨」を掲載しています。

**「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成**では、各教科等の特性に応じて、単元の評価規準の作成の手順や単元の評価規準例を紹介しています。

**「３観点を評価する上での留意点」**では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点を実際に評価する上での留意点を端的に説明しています。

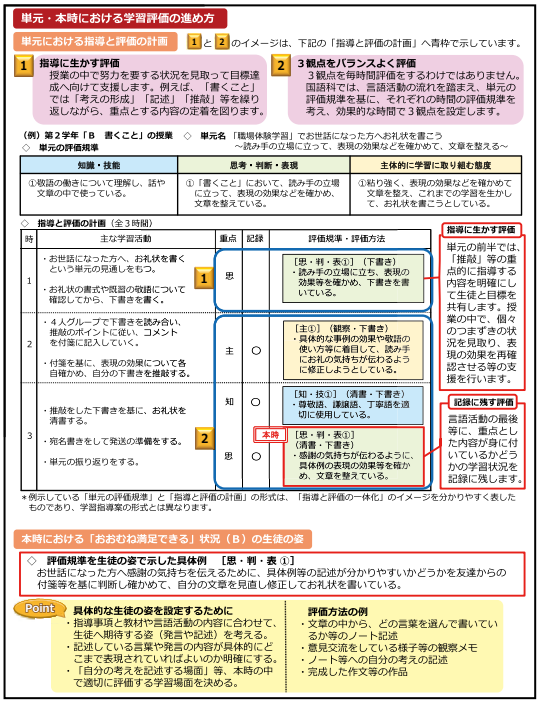



## 各教科等の２ページ目

**「単元（題材）・本時における学習評価の進め方」**では、「指導と評価の一体化」に向けて、どのようなことに気を付けて、単元の指導と評価の計画を立てればよいのかを事例を基に分かりやすく紹介しています。また、単元の評価規準を基に「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」の評価場面を精選して位置付け、その進め方について、紹介しています。

例示している「単元の評価規準」と「指導と評価の計画」の形式は、「指導と評価の一体化」のイメージを分かりやすく表したものであり、学習指導案の形式とは異なります。

本時における「おおむね満足できる」状況（Ｂ）の児童生徒の姿では、実際に授業を行うためには、単元の評価規準からより具体的な児童生徒の姿を設定して、指導と評価をすることが必要です。そのため参考例を紹介しています。




## 同校種の他教科等のページ

学習指導と評価を考える際、各教科等の内容を単に積み上げるのではなく、関連が深い教科等の内容と関連付けながら指導することが求められています。

小学校・中学校とも、関連する他教科等のページを確認し、内容を理解して、日々の学習指導と評価に生かしましょう。

## 異校種の同教科等のページ

小学校では、児童が今後中学校でどのような学びをしていくかを見通す必要があります。中学校では、生徒がこれまでに小学校でどのような学びをしてきたのかを踏まえる必要があります。

それぞれの教科等で関連する異校種のページを確認し、児童生徒の９年間の学びの全体像を踏まえて、日々の学習指導と評価に生かしましょう。

※本冊子と平成29・30年度冊子は当総合教育センターのwebページから、ダウンロードすることができます。